

# 「画狂老人卍北斎の凄さと執念」

令和6年10月5日

中村康男

はじめに

2024年7月3日に発行された新千円札の裏面に、  
なぜ葛飾北斎の富嶽三十六景・神奈川沖浪裏が採用されたか？

財務省のWebサイトによれば、

- ① 日本を代表し国民にも馴染みの深い「富士山」をモチーフとしていること。
- ② 江戸時代の浮世絵師葛飾北斎の代表作で知名度も高く、世界の芸術家に影響を与えた作品でもあること。



世界の芸術家に影響を与えた北斎の凄さと執念を、  
1)人物像 2)交友関係 3)作品の評価  
から紐解きたい。

## 1. 葛飾北斎の人物像

- (1)宝暦10年(1760)～嘉永4年(1849)の90年の人生の江戸時代後期の浮世絵師！
- (2)70年以上に亘って森羅万象を描き、生涯に3万4千点を超える作品を残した天才画家！
- (3)奇人・変人と呼ばれ、完璧主義・努力家・お金に無頓着・気難しい人物で自由奔放の人生！
- (4)人生90年のうち93回転居！

ア.その理由は、

- ①『葛飾北斎伝』(飯島虚心著)には、「部屋の掃除をするのが面倒だったから」と記載されている。
- ②「幕府の弾圧を逃れるため」との説もある。当時老中松平定信による寛政の改革により、喜多川歌麿が手鎖50日、版元の蔦屋重三郎は財産の一部を没収などの弾圧があった。

- (5)人生で30回改号！

ア.その理由は、

- ①「初心を忘れないため」
- ②転居と同様に「幕府の弾圧を逃れるため」
- ③「改名により画号を弟子に売り、その報酬を生活費にあてた」という説もある。

イ.主な画号

勝川春朗・宗理・葛飾北斎・戴斗(たいと)・為一(いいつ)・画狂老人卍

- (6)北斎の凄さと執念！

ア.凄さと執念の評価は、

- ①「絵を描くことへの飽くなき追求」—「北斎漫画」
- ②「完璧を極めることへの執念」—「神奈川沖浪裏」

- ①の「北斎漫画」は、弟子をはじめ人々が絵画を学べるように人物や動物、植物、建物、風景など森羅万象

を描いた絵 4,000 点の「絵手本」である。「北斎スケッチ画集！」

②の「神奈川沖浪裏」は、北斎は完璧を極める為に多岐に亘る工夫や挑戦をしている。西洋の技法もどんに活用している。

a.ダイナミックな構図は、富士山と大波をコンパスと定規を用いた幾何学的な図形である。

人間が美しいと感じる「黄金比率」の活用も。「The Great Wave！」

b.色彩は、ヨーロッパから輸入された化学的顔料のベロ藍を使用した。「北斎ブルー！」

イ. 北斎が 75 歳の時の『富嶽百景』初編のあとがきを参考にすれば、

「七十歳までの仕事は一人前ではない。七十三歳でやっと一人前になる。九十歳で事物の核心にせまり、百歳で必ずやより高い。百十歳になれば、すべてのものが生命を持つようになるだろう。」

ウ.『葛飾北斎伝』(飯島虚心著)によれば、北斎は亡くなる瞬間に、

「天が私の命をあと5年保ってくれたら、私は本当の絵描きになることができるだろう」

『生きること』への北斎の執念は、人生百年の時代においても大いに参考になるだろう！

## 2. 葛飾北斎の友好関係

北斎の交友関係は広く、当時の著名な文人や画家との交流が多くあった。特に文学者との親交が深く、お互いの作品に影響を与え合っていた。とりわけ曲亭馬琴、柳亭種彦との関係は同時代の文化人として、親密な交流を持っていたことが知られている。

### (1) 喧嘩するほど仲がいい？

読本作家 曲亭馬琴 (滝沢馬琴・1767~1848)

代表作の『南総里見八犬伝』をはじめ多くの作品に北斎が挿絵を描いており、二人の共同作業は読本文化を支えた。しかし、馬琴は文章を重視し、北斎は絵を重視する立場だった為、意見がぶつかることもしばしばであった。後に大喧嘩となり絶交した。

### (2) 気の合った仲間を失う！

戯作者 柳亭種彦 (1783~1842)

最初の作『近世怪談霜夜星』の挿絵を北斎が描いた。ふたりは気が合う友好的な関係であったが、種彦が水野忠邦による天保の改革の厳しい儉約令に触れたと譴責処分を受けて急逝する。北斎は気の合った仲間を失う。

### (3) 「音羽屋！」 歌舞伎と浮世絵は切っても切れない関係！

歌舞役者 三代目尾上菊五郎 (1784~1849)

北斎との出会いの逸話が、講談『北斎と文晁』に描かれている。

この場面は、「講談師見てきたような嘘をつき。」かも知れない？

『北斎 80 歳の時、長屋に三代目尾上菊五郎が訪れる。あまりの汚さに毛氈を敷くと北斎は怒って「帰ってくれ」と言う。2人とも初対面から喧嘩になり、菊五郎はそのまま帰っていく。』

その後、文晁の計らいで二人は和解する。

### (4) 「先生」「旦那」と呼び合う間柄！

豪商・儒学者・浮世絵師 高井鴻山 (1806~1883)

鴻山の北斎への惚れこみようは並々ならぬものであった。鴻山は北斎のもとで学び、さらには北斎を信州小布施に招いて自宅に碧漪軒(へきいけん)というアトリエを建てて厚遇した。

80歳を超えた北斎は、岩松院天井画「鳳凰図」、東町祭屋台・上町祭屋台に描かれた天井画の大作を描き上げ、その後富士の高嶺を目指して昇天する龍を描いた最高傑作「富士越龍図」を作り上げた。

互いを認め合い、「旦那さん」、「先生」と呼び合うような親密な信頼関係を築いた。

### (5) 浮世絵の特有の分業体制にある人間模様！

- ① 浮世絵の版画は、今でいう出版社にあたる「版元」、版下絵を描く「絵師」、版木を彫る「彫師」、版木に色をのせて摺る「摺師」との共同作業で完成する。
- ② 「蔦重」と呼ばれた大手版元の蔦屋重三郎が、春朗時代の北斎に山東京伝や曲亭馬琴の黄表紙の挿絵を依頼した。しかし、蔦重とはそんなに親しくはなく、『富嶽三十六景』など多くは西村屋与八と森屋治兵衛の版元から出版された。北斎は優れた技術を持つ職人技の彫師や摺師を求めた。

### (6) 北斎から学んだ面々！

- ① 葛飾応為（生没年不詳）北斎の三女で名はお栄  
『葛飾北斎伝』（飯島虚心著）によれば、性格は男勝り、生活スタイルは破天荒な父によく似ていたそうだ。美人画に優れ、北斎の壮大な画業を支えた。
- ② 溪斎英泉（1791-1848）美人画を得意とする北斎と同じ時代の人気浮世絵師  
北斎宅に出入りし、お栄とも親しくしていた。弟子ではないが北斎に私淑していた。
- ③ 北斎の孫弟子も含めて 200 名の弟子  
弟子の中では蹄齋北馬・柳川重信・魚屋北溪らが高い評価を得ている。  
大英博物館では、「北溪（魚屋北溪）は、絵の具の技術だけでなく、想像力でも師匠に匹敵します。」と絶賛している。  
浮世絵界の最大派閥歌川派での立役者は初代歌川豊国であった。個性豊かで人気がある国貞、国芳、国政、国直ら多くの弟子を抱えた。歌川広重は門生満員の為に入門を断わられたらしい。  
一方で、葛飾北斎の弟子たちは、師匠から技術を学び、北斎を継承することを第一義としていた。北斎と豊国の両流派は、それぞれ師匠の個性とか弟子の育て方に違いはあるが、江戸時代後期の浮世絵の発展に大きく貢献した。ともに素晴らしい流派であった。

## 3. 北斎の作品の評価

なぜ浮世絵が、葛飾北斎が、ヨーロッパで人気があるのか？ 3つの視点から紐解きたい。

- (1) シーボルトなど日本に滞在したオランダ人
- (2) ゴッホやモネら印象派の画家
- (3) 大英博物館らの浮世絵コレクター

米 LIFE 誌のミレニアム 特集号 1998 年 9 月 1 日発売←

「この 1000 年で最も重要なできごとと人物・100 選」の中で日本人唯一紹介されたのは葛飾北斎←

### (1) シーボルトなど日本に滞在したオランダ人

オランダのライデン博物館(旧:民族学博物館)のサイトに「ライデン世界博物館の日本コレクション」というコーナーがあり、数多くの浮世絵が閲覧出来る。

#### ア. 江戸時代の鎖国政策下で「西洋との貿易」が認められていたオランダ商館とは？

江戸時代、長崎におかれたオランダ東インド会社の日本支店。1641 年鎖国政策により平戸から長崎出島に移転し、幕末まで対日貿易の拠点であった。出島滞在オランダ人は商館長(カピタン)、次席、荷倉役、書記役、外科医、台所役、大工、鍛冶などがいた。

#### イ. フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト(1796~1866)とは？

① ドイツ人。東インド会社の出島オランダ商館付医師・自然調査官、1823 年から 1829 年日本に滞在。鳴滝塾を創設し蘭学者高野長英ら 150 名の秀才を集めた。日本の科学的調査が任務であり個人的関心

でもあった。その成果を『日本』『日本植物誌』『日本動物誌』等に纏めた。

②1828年にシーボルトが帰国の際に、国禁の日本地図などの持出しが発覚し、国外追放処分されるというシーボルト事件が起こった。

③日本の浮世絵や工芸品にも強い関心を持ち、葛飾北斎の作品を含む多くの浮世絵を収集した。彼のコレクションは後に西洋における日本美術の理解を深めることに貢献する。

#### ウ. シーボルト・コレクションの研究

①2007年12月江戸東京博物館において「北斎 ヨーロッパを魅了した江戸の絵師」と題する展覧会が開催され、フランス国立図書館とオランダ国立民族学博物館に所蔵されている風俗画が初めて同時の里帰りとなった。

・フランス国立図書館が所蔵する「1817年から1823年にかけて、オランダ商館長のブロムホフが発注し、次の商館長のステュルレルが持ち帰った25点の作品」

・オランダ国立民族学博物館が所蔵する「シーボルトが収集したオランダの紙に描かれた北斎の作品」が公開された。

②2016年に「シーボルト収集品目録からオランダ国立民族学博物館に所蔵されている6枚の絵が、北斎の西洋風肉筆画と判明」と同館のシニア研究員マティ・フォラー氏が長崎市発行の学術誌に発表した。

この作品の作者が分からなかったのは、当時出島の出入絵師は川原慶賀しか認められておらず、北斎はわざと検閲や検査の「抜け道」として署名や落款(印鑑)を記載しなかったからだと言われている。

③当時オランダ商館長=カピタンは定期的に江戸へ参り、将軍に謁見して献上物を呈上する「カピタン江戸参府」が行われた。1826年5月にシーボルトも同行した。江戸で「長崎屋」を定宿とし、鎖国体制下の日本において、日蘭両国の交流と情報交換が出来た。北斎は江戸名所絵本『画本東都遊』の「長崎屋図」で、宿の窓からオランダ人を覗く老若男女などたくさんの江戸っ子の様子を描いている。

シーボルトと北斎の出会いの確証はないようだが、現存するシーボルト・コレクションはじめ諸々の状況から出会いがあったと考えるのが、自然のように思われる。

## (2) 浮世絵に影響されたゴッホやモネら印象派の画家

### ア. ジャポニスム(ジャポニズム)の真相に迫る!

①ジャポニスムとは、19世紀後半に西洋諸国で流行した日本趣味のことで、浮世絵がけん引した。

②ヴィンセント・ヴァン・ゴッホやクロード・モネら印象派の巨匠は、浮世絵に魅了され、コレクターになった。

③浮世絵が西洋でお披露目されたのは、1867年に開かれたパリ万国博覧会である。

④陶磁器の梱包材として使われていた浮世絵が、当時の西洋人に大きな衝撃を与えた。

⑤林忠正がパリで画商として活躍し、浮世絵の普及と啓蒙活動に寄与した。

今でこそ忠正の功績が讃えられているが、「浮世絵を海外に流出させた国賊」とまで言われた。開成学校(現東京大学)を中退し、1878年万博の通訳としてパリに旅立ち美術商となる。

原田マハさんの小説『たゆたえども沈まず』は、浮世絵を売りさばく日本人林忠正とゴッホの出会いを描いたフィクション小説だが、パリの印象派の画家たちの浮世絵への思いが伝わってくる。

もうひとり、忠正の孫の夫人である小説家・美術史研究家木々康子さんによる林忠正関連の執筆活動は、汚名返上の忸怩たる思いと推察する。

### イ. 印象派の画家たちが浮世絵に魅了された理由?

①大胆な構図や西洋絵画を形式とは異なる浮世絵の表現手法。

②北斎ブルー、広重ブルー、ジャポン・ブルーなどの色彩の使い方。

③庶民の日常生活や四季の変化や自然の風景など多様で自由な描写。

④ 形をリアルに見せるのではない、あいまいな形の描き方。

ウ. ヨーロッパの芸術家に影響！

- ① 浮世絵を模写      ゴッホの「花咲く梅の木」⇨歌川広重「江戸名所百景 亀戸梅屋舗」
- ② 背景に浮世絵      マネの「エミール・ゾラの肖像」の背景に 二代歌川国明「大鳴門灘右工門」
- ③ 日本的なモチーフ      日本の着物や扇などの日本の趣味を取り入れたモネの「ラ・ジャポネーズ」
- ④ 浮世絵の表紙      ドビッシーの『海』初版スコアの表紙デザインに北斎の「神奈川沖浪裏」

(3)北斎を絶賛する浮世絵(含肉筆画)のコレクターの大英博物館

ア. 2017 年に開催した北斎展「Hokusai: beyond the Great Wave」が大きな反響！

これを企画したのは、当時日本部門長のティム・クラーク氏

イ. 収蔵する北斎のコレクションは世界的に質が高く、北斎の芸術的な多様性を評価！

ウ. 英国ニュースダイジェストの『北斎と英国の知られざる 5 つの物語』の指摘では、

①北斎を英国に紹介した 2 人の英国人

- ・北斎研究に打ち込んだロンドン大学の事務局長・日本文学研究者のフレデリック・ビクター・ディキンズ (1838-1915) 「富嶽三十六景」を紹介した。
  - ・北斎の肉筆画作品などを大英博物館へ売却した明治政府お雇い外国人医師のウィリアム・アンダーソン (1842-1900) 大英博物館に売却した美術品が日本コレクションの中核になっている。
- のふたりを紹介。

②英国の自然科学者ジョン・ウッドワード(1665-1728)が、「ベロ藍」(プルシャン・ブルー)を世に広めるのに貢献したと紹介。

③大英博物館は早い時期に摺られた良質の「神奈川沖浪裏」を 3 枚所蔵していると紹介。

④英国で北斎に影響を受けた画家の筆頭は、J・M・ホイッスラー(1834-1903)と紹介。

⑤1948 年開催の北斎展は絵画や版画のみ展示であったが、2017 年開催「Hokusai: beyond the Great Wave」は、北斎晩年約 30 年間の様々なジャンルの作品を一堂にしたと紹介。

エ. 大英博物館は、「北斎の 1829 年に描いた 103 点の未公開の素描(デッサン)」を2021年に展示公開した。絵手本「万物絵本大全図」展と題した。

以上の様に偉大なコレクターである大英博物館は、長きに亘り日本の美術品を収集し、且つ地道な研究を続けている。近年、北斎の魅力を発信している。

おわりに

本論のテーマである「なぜ浮世絵が、葛飾北斎が、ヨーロッパで人気があるのか？」

その答えを見出したい一心で、国境を越えて人気のある北斎の人物像と芸術性を探ってみた。

- ①江戸文化の爛熟期に浮世絵は、大衆が望むものを描く庶民の楽しみとして発展した。浮世絵の巨匠北斎は、完璧を求める性格と絵師として最高の作品を追求する姿勢を貫いた。
- ②日本が江戸から明治に移り西洋化が進む中、欧米諸国では「ジャポニスム」が興隆した。その中心であった浮世絵にゴッホやモネら印象派の画家は魅了された。特に北斎の作品に大きな衝撃を受けた。
- ③北斎人気の背景には、シーボルトのような日本に滞在したオランダ人、ゴッホやモネら印象派の画家、大英博物館等のコレクターの存在が大きい。このことは北斎の芸術的評価が高く認められた証左である。
- ④北斎は、「老いてなお画道ひと筋」と言う意味の「画老人」に卍をつけた。それに北斎を加えた「画狂人卍北斎」が彼らしいと感じる。その名に秘めた高みを目指す情熱の凄さと芸術に対する並外れた執念が、北斎の魅力として人々を惹きつけ、国境を越えた人気の源泉になっていると思われる。

私事として、

私自身、今年 74 歳である。落語が趣味で、今年初めて創作落語に挑んだ。

演目は「葛飾北斎百物語@四谷怪談・皿屋敷」とした。北斎が描いた幽霊の「お岩さん」と「お菊さん」を題材とした。

アマチュア落語家として、浮世絵にあやかり「浮世亭寿八」と命名し活動している。

なぜこのタイミングで創作落語に挑戦したのかと言えば、

ひとつは、昨年母が 96 歳で亡くなったからで、怪談話は死者への供養という意味を持っている。

もうひとつは、「七十歳までの仕事は一人前ではない。七十三歳でやっと一人前になる、、、、、、」

北斎の残したこの言葉に背中を押された。

#### <参考文献>

「葛飾北斎伝」 飯島虚心 岩波文庫

「北斎 世界を魅了した絵本」 永田生慈著 三彩社

「もっと知りたい 葛飾北斎 生涯と作品」 永田生慈著 東京美術

「北斎漫画」「富岳百景」 葛飾北斎著 芸艸堂

「シーボルトの 21 世紀」 大場秀章 東京大学総合研究博物館教授

「知られざる 北斎」 神山典士 株式会社 幻冬舎

大英博物館所蔵「浮世絵名作展」 朝日新聞東京支店企画第一部 大塚巧芸社

北斎今昔 アダチ版画研究所

ウッキペディア フリー百科事典 Web